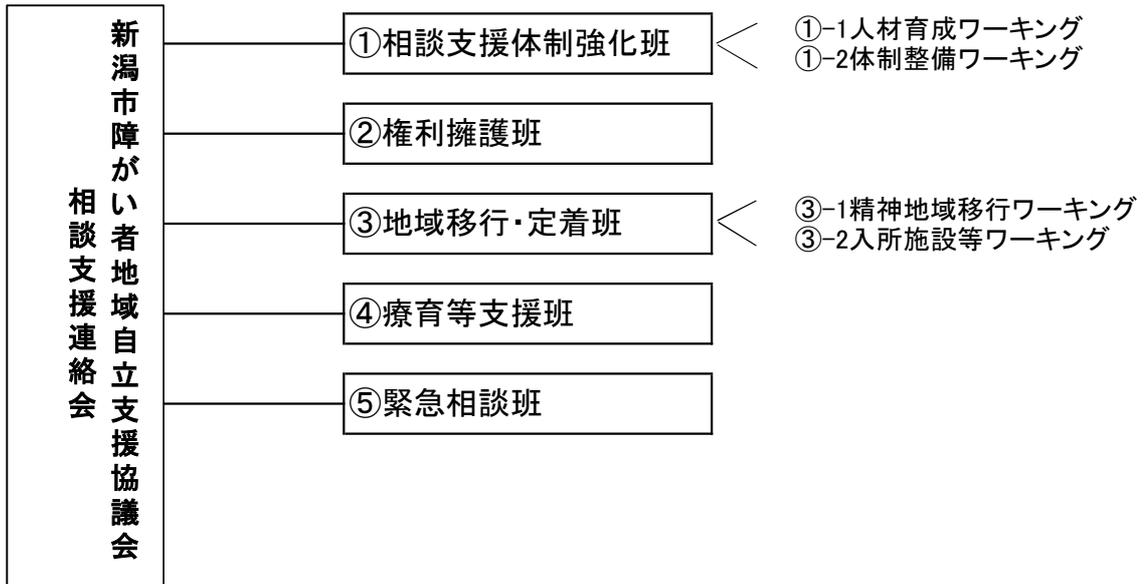


## 新潟市障がい者地域自立支援協議会 相談支援連絡会における各班活動の実績

## 【相談支援連絡会の体制】



## ①相談支援体制強化班（H30.4～）

## ①-1 人材育成ワーキング（H31.4～）

- ・人材育成ビジョンによる研修にかかること
- ・計画相談相談事業所の評価・および改善に向けた取り組み

## ①-2 体制整備ワーキング（H31.4～）

- ・計画相談相談事業所の評価・および改善に向けた取り組み
- ・福祉サービス事業所等との連携にかかること
- ・その他、体制強化にかかわること

## ②権利擁護班（H30.4～）

- ・障がい者虐待防止対応にかかわること
- ・成年後見にかかる相談にかかわること
- ・新潟市障がいのある人もない人もともに生きる街づくり条例にかかわること
- ・障がい者の意思決定に関すること
- ・セルフアドボカシー（当事者権利・擁護）に関すること

## ③地域移行・定着班（H30.4～）

## ③-1 精神地域移行ワーキング（H31.4～）

- ・地域移行地域定着の促進およびネットワークにかかわること
- ・精神科病院等とのネットワークにかかわること
- ・精神障害者地域包括ケアシステムに関すること

## ③-2 入所施設等ワーキング（H31.4～）

- ・地域移行地域定着の促進およびネットワークにかかわること
- ・入所施設および矯正施設からの対応にかかわること

## ④療育等支援班（H30.4～）

- ・在宅障害児等の地域生活にかかわること  
（発達障がい児、重度心身障害児者、強度行動障害児者など）
- ・障がい児のライフステージにかかわること
- ・児童の計画作成に関すること

## ⑤緊急相談班（H31.4～）

- ・緊急コールセンターの相談体制にかかること
- ・その他、地域生活拠点等に必要な協議

令和元年度 新潟市障がい者地域自立支援協議会相談支援連絡会名簿

		所 属	職名・役職	氏 名	備考
相談支援連絡会		新潟県地域生活定着支援センター	センター長	本多 崇人	会長
		新潟市障がい者基幹相談支援センター西	相談員	竹田 一光	副会長
		各班班長	省略(5名)		
相談支援体制強化班	人材育成WG	自立支援センターまんにち	係長	関川 敦子	班長
		障がい者(児)生活支援センターわあ〜らく	管理者・相談支援専門員	本井 ひろみ	
		相談支援事業所 恩田調整店	相談支援専門員	恩田 大輔	
		あたご相談センター	相談支援専門員	鈴木 和幸	
		新潟市障がい者基幹相談支援センター中央	相談員	川本 真貴子	
		新潟市障がい者基幹相談支援センター東	相談員	茂木 さやか	
	体制整備WG	相談支援センターウィズ	管理者・相談支援専門員	大杉 美津夫	
		地域生活支援センターゆとりあ	相談支援専門員	鈴木 一由	
		新潟市障がい者基幹相談支援センター秋葉	相談員	山際 優子	副班長
		新潟市障がい者基幹相談支援センター西	相談員	貝沼 静江	
江南区健康福祉課 障がい福祉係		係長	小柳 光明		
権利擁護班		しなのがわ法律事務所	弁護士	高橋 直己	班長
		新潟市障がい者基幹相談支援センター秋葉	相談員	杉山 貴則	副班長
		新潟市障がい者基幹相談支援センター東	相談員	田名部 康介	
		新潟市障がい者基幹相談支援センター西	相談員	竹田 一光	
		新潟市障がい者虐待防止センター	虐待防止員	伊藤 裕美	
		西区健康福祉課 障がい福祉係	係長	山田 斉	
地域移行・定着班	精神地域移行WG	白根緑ヶ丘病院	精神保健福祉士	寺尾 真二	班長
		訪問看護ステーションめぐみ	看護師	和氣 一弘	
		地域生活支援センターふらっと	施設長	二宮 寛	
		新潟市障がい者基幹相談支援センター中央	相談員	志賀 あずさ	
		新潟市障がい者基幹相談支援センター西	相談員	丸山 幸代	副班長
		新潟市こころの健康センター	主査	飛澤 佐代子	副班長
	入所施設等WG	社会福祉法人新潟太陽福祉会 太陽の村	副園長	大滝 勝英	班長
		社会福祉法人更生慈仁会 ゆかり	相談員	五十嵐 美幸	
		社会福祉法人更生慈仁会 はまゆう	施設長	渡辺 弘子	
		社会福祉法人新潟みずほ福祉会 第2みずほ園	主任	渡邊 祐輔	
		新潟市障がい者基幹相談支援センター東	相談員	笹川 朋子	副班長
		新潟市障がい者基幹相談支援センター中央	相談員	坂井 裕希	
		北区健康福祉課 障がい福祉係	副主査	樺沢 万葉	
療育等支援班		新潟市障がい者基幹相談支援センター東	相談員	今田 靖久	班長
		新潟市障がい者基幹相談支援センター秋葉	相談員	杵野 彩香	副班長
		新潟市障がい者基幹相談支援センター中央	相談員	川本 真貴子	
		新潟市障がい者基幹相談支援センター中央	相談員	川村 優子	
		新潟市障がい者基幹相談支援センター西	相談員	久代 愛子	
		新潟市障がい者基幹相談支援センター秋葉	相談員	本間 康子	
		東区健康福祉課 障がい福祉係	主査	田中 恒郎	
		障がい福祉課 給付係	主事	遠藤 梨紗	
緊急相談班		新潟市夜間・休日コールセンター らいとほうす	主任コーディネーター	細井 聡仁	班長
		社会福祉法人更生慈仁会 十字園	生活支援課課長	久根内 恵子	
		新潟市障がい者基幹相談支援センター秋葉	相談員	肥田野 淳平	
		新潟市障がい者基幹相談支援センター西	相談員	飯田 誉人	
		新潟市障がい者基幹相談支援センター西	相談員	竹田 一光	副班長
		障がい福祉課 給付係	副主査	入山 涼	

令和元年度 新潟市障がい者地域自立支援協議会 相談支援連絡会  
各班活動の実績

①-1 相談支援体制強化班（人材育成ワーキング）

課 題	人材育成（計画相談員研修、人材育成ビジョン作成）											
活動目標	質の高い相談支援の人材育成を目指す											
活動計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		班全体会	班全体会・WG会議	研修会案内送付	初任者・現任者研修【前期】				現任者研修【後期】		ブラッシュアップ研修	
活動実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		班全体会	班全体会・WG会議	研修会案内送付	初任者・現任者研修【前期】				現任者研修【後期】		障がい児支援者向けブラッシュアップ研修	
<p>●初任者・現任者研修【前期】（8/28開催 参加者：38名） （内容） ①行政説明(障がい福祉課より) ・「障がい者福祉における相談支援の充実に向けた取り組みについて」 ・「平成31年度以降の計画相談支援等に係る留意事項について」 ・「特定事業所加算等に係る記録について」 ②講義 ・「計画作成について」「相談員のスキルアップ・業務管理のポイント」について→グループワーク</p> <p>●現任者向け研修(12/6開催 参加者：16名 ファシリテーター：7名) （内容） ①計画作成に関わる業務等について説明(障がい福祉課より) ②インシデントプロセス法を用いたケースの再検討 ・それぞれが持ち寄った、新しいエッセンスを取り入れたいケースを発表。その中で2ケース再検討する。 ③振り返りのグループワーク</p> <p>●障がい児支援者向け研修(2/26開催 参加者：142名) （内容） ①「障がい児の理解と親の支援を支えるために必要な視点について」 ②「障がい児を中心にしたケアマネージメントと連携の在り方」 ③グループワーク（ワールドカフェ方式）</p>												
班員	<p>・自立支援センターまんにち：関川 敦子 ・障がい者（児）生活支援センターわあ〜らく：本井 ひろみ ・あたご相談センター：鈴木 和幸 ・ 恩田調整店：恩田 大輔 ・基幹C中央：川本 眞貴子 ・ 基幹C東：茂木 さやか</p>											

令和元年度 新潟市障がい者地域自立支援協議会 相談支援連絡会  
各班活動の実績

①-1 相談支援体制強化班（人材育成ワーキング）

課 題	人材育成（基幹研修会）												
活動目標	質の高い相談支援の人材育成を目指す												
活動計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	新潟市障がい福祉課 と相談の上必要な研 修を実施
		職員 オリエン テーシ		(G S V) 事例 検討 / 評価		(G S V) 事例 検討 / 評価		(G S V) 事例 検討 / 評価	研修 （地域生活支 援 拠点等につ いて）	(G S V) 事例 検討 / 評価	者 連携につ いて） 専 門分野別 研修	研 修（認 知行動療 法 につ いて）	
活動実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	中止
		職員 オリエン テーシ		(G S V) 事例 検討 / 評価		に 研 修 係 る 支 援 業 務 に 制 度 に 関 して		(G S V) 事例 検討 / 評価	研 修 （地域生活支 援 拠点等につ いて）	国 研 修 の O J T	者 連携につ いて） 専 門分野別 研修		
<p>●<u>新人職員オリエンテーション研修（5/27実施）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹C相談員としての業務における接遇、ケアマネージメントのポイント、自立支援協議会運営、「障がい者虐待、権利擁護」と「ともまち条例」における業務説明、留意点を確認した。</li> </ul> <p>●<u>事例検討会①事例提供 基幹C中央（7/12）②事例提供 基幹C東（11/8）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インシデント・プロセス法を用いたファシリテーション技術の向上を図った。</li> </ul> <p>●<u>成年後見制度に係る支援業務について研修（9/13実施）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4センターの支援の平準化を目指し、業務マニュアルを確認した。</li> </ul> <p>●<u>地域生活支援拠点等について研修会（12/2）・・・緊急相談班との共催</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各区ごとに、社会資源や整備体制を検討し、今後の支援体制整備への第一歩となった。</li> </ul> <p>●<u>相談支援従事者指導者養成研修+主任相談支援専門員養成研修の伝達研修（1/10）</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の示す法定研修（初任研・現任研）の新カリキュラムと基幹cの役割を確認し、来年度の体制を協議した。</li> </ul> <p>●<u>新潟市障がい児支援者向け研修会（2/26）・・・人材育成WG、療育等支援班との共催</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい児の理解と親支援の視点と支援者間の連携のあり方を学んだ。</li> </ul> <p>●<u>認知行動療法（自動思考の理論）研修会（3/9）→コロナウイルスの影響により、中止</u></p>													
GSV：グループスーパービジョンの略													
班員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹相談支援センター相談員全員</li> <li>・新潟市障がい福祉課給付係</li> </ul>												

令和元年度 新潟市障がい者地域自立支援協議会 相談支援連絡会  
各班活動の実績

①-2 相談支援体制強化班（体制整備ワーキング）

課 題	計画相談支援事業所の整備											
活動目標	身近な地域で相談でき、課題解決できる地域の体制整備を目指す											
活動計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		班全体会	班全体会・WG会議	アンケート打ち合わせ作成	相談事業所向けアンケート完成		アンケート進捗報告（全体会）	アンケート配布	アンケート集計	体制ビジョン作成		アンケート結果報告
活動実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		班全体会	班全体会・WG会議	アンケート打ち合わせ作成	アンケート検討案作成	→	アンケート進捗報告完成	アンケート配布	アンケート集計			
<p>●相談事業所向けアンケート作成の検討会（①7/30 ②8/30 ③9/27）</p> <p>①昨年度の「相談支援事業所体制調査」資料にて、計画相談事業所の現状と現場の実態を分析</p> <p>②アンケートの内容の「たたき案」を検討、作成</p> <p>③実際に、プレアンケートを実施。修正後、各計画相談事業所へ配布（11月）</p> <p>●相談事業所向けアンケートの完成、配布（11/11）→締め切り（12/6）</p> <p>●アンケート回収、集計作業（①12/10 ②2/5）</p> <p>①回収後の内容の再確認</p> <p>②内容についての編集作業（役割分担）</p> <p>●「アンケート結果報告書」の完成（3/9）→全体会報告</p> <p>《来年度》</p> <p>アンケートの結果から、経営面、個別ケースの負担感、国・市の施策に望むことなどを明確化 市の把握と計画相談事業所の現実の差を埋める体制ビジョンを作成、検討</p>												
班員	<p>・相談支援センターウイズ：大杉 美津夫 ・地域生活支援センターゆとりあ：鈴木 一由</p> <p>・基幹C西：貝沼 静江 ・基幹C秋葉：山際 優子</p> <p>・江南区健康福祉課障がい福祉係：小柵 光明</p>											

令和元年度 新潟市障がい者地域自立支援協議会 相談支援連絡会  
各班活動の実績

②権利擁護班

課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市障がい者虐待対応マニュアル（改訂版）を活用した相談支援体制の改善</li> <li>・セルフアドボカシー（自己権利擁護）周知・検討</li> </ul>											
活動目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>①「市障がい者虐待対応マニュアル」改訂版の啓発と検証</li> <li>②セルフアドボカシー支援の啓発～暮らしのルールブック活用講座の開催～</li> </ul>											
活動計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		5/2(水) 打ち合わせ	市職員向け虐待研修に班メンバー参加。方向性の確認(第1回会議)		8/1(木) 第2回会議	9/25(水) 第3回会議		11/27(水) 第4回会議			市障がい者虐待防止センター意見交換会 2/26(水) 第5回会議	
活動実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		5/2(水) 打ち合わせ ⇒高橋弁護士による講演を軸に市職員研修会の企画	6/25(火) 市障がい者虐待防止センター職員研修会⇒班員も参加 第1回会議	各区と基幹相談支援センターの虐待対応業務実態現状把握	8/1(木) 第2回会議	9/13(金)基幹相談支援センター職員研修で「成年後見申立支援業務について」実施 9/20(金) 打ち合わせ 9/25(水) 第3回会議		11/26(火) 打ち合わせ 11/27(水) 第4回会議		各区虐待担当職員に対しアンケート調査を実施	2/13(木) 市障がい者虐待防止センター意見交換会 2/3(月) 第5回会議	
	<p>①「市障がい者虐待対応マニュアル」改訂版の啓発と検証</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆異動した全く初めての職員でも肅々と迷い無く、法律に即した虐待対応が出来ることを目標に、最初に班員で分担し現状を把握、毎回の会議で検証を行った。</li> <li>・集大成として2月情報交換会で、事例を通じて改訂フロー図及び改訂様式の活用方法について学ぶシュミレーション研修会を開催。定着を図った。</li> <li>・8区中5区で改訂フロー図を活用を開始。一連の流れのイメージが持てる、また各様式をどの過程で使用するか分かり易いなどの意見あり。反面、周知は進んでいるが、より使いやすいファイル化を望む声が多かった。</li> <li>◆成年後見制度の重層的な相談支援における体制整備について、成年後見支援センター・指定特定相談支援事業所との連携のもと、基幹相談支援センターで成年後見初期相談(申立て支援等)に対応出来るよう取組みを進めることとなった。</li> </ul> <p>②セルフアドボカシー支援の啓発～暮らしのルールブック活用講座の開催～</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆去年3月に暮らしのルールブック活用講座を開催(新潟市対象)</li> <li>・「セルフアドボカシー支援とは…」による周知を幅広い分野(各家族会、教育機関)へ向けて研修会を開催。(別紙参照)</li> <li>・今年度、地域活動支援センター(西蒲区)でセルフアドボカシー支援に関する勉強会を開催した。</li> </ul> <p>&lt;参加者の感想&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当事者からは、「自分のストレス解消法を知ることができた。」「自分について考えることができた。」「やってはいけないことを学ぶことができた。」など、概ね良好な感想があった。</li> <li>・支援者からは、「性について伝える(教育する)機会が不十分であり、その必要性を考えることができた。」「普段、見ないようにしていることについて、その本質を考えることができた。」「とても興味深い内容だった。」など、好評であった。</li> </ul> <p>《来年度の取り組み》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①市障がい者虐待対応マニュアルについて、さらに実態に沿った検証をすすめる。 →虐待対応マニュアルをファイル化し、全区で共通活用できるよう取組みを実施する予定。</li> <li>②新潟市におけるセルフアドボカシー支援活動実践の継続 →地区、事業所で講義プログラムを遂行できるよう権利擁護班としてもサポート体制を整えていく。</li> </ul>											
班員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班長：高橋 直己（しなのがわ総合法律事務所）</li> <li>・山田 斉（西区障がい福祉課係長）</li> <li>・竹田 一光（基幹西）</li> <li>・副班長：杉山 貴則（基幹秋葉）</li> <li>・伊藤 裕美（市虐待防止専門員）</li> <li>・田名部 康介（基幹東）</li> </ul>											

## セルフアドボカシー支援の啓発「暮らしのルールブック」活用講座 活動実績

令和2年3月4日現在

## 1. 障がい当事者対象の公開勉強会(会場:地域活動支援センター)

講義プログラム	研修日	テーマ	参加人数
第1回	6/5(水)	「自分の情報は他の人にもらさないだよ」	24人
第2回	6/19(水)	「ネット犯罪に気をつけよう」	16人
第3回	7/2(火)	「プライベートとパブリック」	16人
第4回	7/16(火)	「ものを盗んではいけません～その1～」	17人
第5回	8/7(水)	「ものを盗んではいけません～その2～」	14人
第6回	8/21(水)	「ものをこわしたくなったらどうしよう？」	12人
第7回	9/5(木)	「人の名前を使って手紙を作成したり、 金銭を要求してはいけません」	14人
第8回	9/17(火)	「性犯罪をしてはいけません～その1～」	14人
第9回	10/1(火)	「性犯罪をしてはいけません～その2～」	14人
第10回	10/15(火)	「人から誘われた時は気を付けよう」	17人
第11回	11/7(木)	「やめられなくなる時があります」	16人
第12回	11/21(木)	「こころの停止ボタンをみつけてつかってみよう」	17人
第13回	12/20(金)	「言っていること わるいこと」	24人
第14回	1/20(月)	「こんな時はどんな行動がよいだろう」	15人
第15回	2/19(水)	「教えて！こころの大きさ、速さ」	17人
第16回	3/18(水)	「1年を振り返って～基本のおさらい～」 ⇒コロナウイルスの影響により中止	-

◆2019年文部科学省「障害者の多様な学習活動を総合的に支援するための実践研究」の委託を受けたNPO法人PandA-Jが行う「セルフアドボカシー支援に向けたキャリア教育と地域包括支援プログラム「暮らしのルール講座」についての研究事業の一環として参加者に研究承諾書(同意書)を頂き実施中。

## 2. 研修会

研修名	研修日	テーマ	参加人数
障がい福祉サービス通所事業所職員向け研修会	7/20(土)	「性トラブルにどう対処？ ～実際困っている事例で考えよう～」	50人
特別支援学校教職員向け研修会	7/30(火)	「犯罪に巻き込まれないための本人との学び (暮らしのルールブックの活用)」	55人
新潟市身体・知的障がい者相談員研修会	10/10(木)	「楽しく生きていくために ～セルフアドボカシーについて考える～」	100人
障がいのある方のご家族向けの研修会	10/23(水)	「障がいをもつ人や家族の権利擁護をするための大事な視点について～計画相談支援とセルフアドボカシー～」	30人
江南区自立支援協議会全体会	11/21(木)	「楽しく生きていくために ～セルフアドボカシーについて考える～」	20人
西区自立支援協議会全体会	2/21(木)		17人

令和元年度 新潟市障がい者地域自立支援協議会 相談支援連絡会  
各班活動の実績

③-1 地域移行・定着班（精神地域移行ワーキング）

課題	真に地域移行支援が必要な長期入院患者さんはどれだけのいるのか、地域移行支援事業は使いづらいのか？ 地域の受け皿や相談機関（指定一般事業所）は本当に足りていないのか？本当のニーズがわからない。 精神保健福祉情報ガイドブックがH28年度以降、障がい者福祉のしおりと統合され発行されなくなった。精神に特化したガイドブックがあれば使いやすい。											
活動目標	精神科病院へのアンケートを通して、地域移行に関する実態を把握し、実態に合わせた地域づくりの方法を考える。 精神保健福祉情報ガイドブックについてニーズを調査し、ニーズが多くあれば作成する。											
活動計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			第1回 班会議	9月末までに 精神科病院へ出向いてアンケート調査			第2回 班会議	アンケート時に同時調査 精神ガイドブック、ニーズがあれば作成			第3回 班会議	
活動実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		ポスター、リーフレットの紹介	第1回 班会議 実施・ リーフレット 発送		新潟県 弁護士 会との打 ち合わせ	精神科 病院回 り アンケ ート調 査		第2回 班会議	新潟県 弁護士 会との事 例検討 会		高齢者 施設で の障がい 理解講 座	第3回 班会議
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5/24 精神科医療機関PSW情報交換会にて、昨年度作成の地域移行ポスター、リーフレットについて説明を行った。</li> <li>・6/13 第1回班会議開催 今年度の班活動について活動方針を検討した。</li> <li>・6月中旬 市内精神科病院、行政機関宛に、リーフレットを複数部発送。</li> <li>・8/28、1/21 新潟県弁護士会との意見交換会実施。（3/25予定）</li> <li>・8月～9月にかけて 市内精神科病院へ出向き、地域移行等に関するアンケートを実施。</li> <li>・2/21 高齢者通所施設への精神障がい理解講座実施（パイロット版）</li> </ul>											
班員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新潟信愛病院：永峯（9月末まで班長）</li> <li>・白根緑ヶ丘病院：寺尾（10月より班長）</li> <li>・訪問看護ステーションめぐみ：和気</li> <li>・ふらっと：二宮</li> <li>・こころの健康センター：飛澤</li> <li>・基幹西：丸山</li> <li>・基幹中央：志賀</li> </ul>											

令和元年度 新潟市障がい者地域自立支援協議会 相談支援連絡会  
各班活動の実績

③-2 地域移行・定着班 (入所施設等ワーキング)

課 題	入所待機者の解消について (区自立支援協議会からの課題提起)											
活動目標	①施設入所待機者の現状把握を行う。 ②真の待機者の把握について検討する。 ③障がい者支援施設入所者の介護保険施設への移行について検討する。介護保険施設の現状を知る。											
活動計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			第一 回班 会議				第二 回班 会議	高齡 施設 見学	第三 回班 会議			第四 回班 会議
活動実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			第一 回班 会議				第二 回班 会議	高齡 施設 見学	第三 回班 会議			第四 回班 会議
活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月には、班メンバーで高齡施設の見学を行った。</li> <li>高齡施設と障がい施設を持っている同一法人で、入所移行の実情と高齡施設で障がい者がどのような生活を送るのかをイメージすることができた。</li> <li>・第3回会議は、高齡施設見学の振り返りを行った。高齡施設移行までの流れが厳しい。障がい施設に入所している状態では介護認定が受けられないので、スムーズな移行ができない。また、障がい施設と高齡施設の利用料の違いについての情報共有を行った。高齡施設利用の場合、利用料負担増は少額であるので、理解を求めながら移行することは可能。</li> <li>・第4回の会議は、適用除外施設から介護保険施設への移行のフローチャートの確認をした。また、障がい者のグループホームの利用料と介護保険施設の利用料との比較をした。来年度に向けての活動内容の意見交換を行った。</li> </ul>											
班員	<ul style="list-style-type: none"> <li>○更生慈仁会はまゆう：渡辺施設長</li> <li>○〈班長〉新潟太陽福祉会 太陽の村：大滝副園長</li> <li>○新潟みずほ福祉会：第2みずほ園 渡邊</li> <li>○更生慈仁会相談支援センターゆかり：五十嵐</li> <li>○北区健康福祉課障がい福祉係：樺沢</li> <li>○〈副班長〉障がい者基幹相談支援センター東：笹川</li> <li>○障がい者基幹相談支援センター中央：坂井</li> </ul>											

令和元年度 新潟市障がい者地域自立支援協議会 相談支援連絡会  
各班活動の実績

④療育等支援班

課 題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重症心身障がい児や医療的ケアが必要な障がい児者の支援体制の整備について</li> <li>・教育と福祉の連携体制について</li> </ul>											
活動目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>①重症心身障がい児や医療的ケアが必要な障がい児の現状を把握する</li> <li>②療育支援について、教育機関等に対する啓発や制度説明を実施する際の資料の作成を行う</li> </ul>											
活動計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		打合せ（適宜）				第1回 9/9	第2回 10/17	第3回 11/14	第4回 12/12	第5回 1/16	第2回 全体会	
	重心 ネット 4/24					重心 ネット 9/4	第1回 全体会			重心 ネット 1/22		
活動実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			打合せ 6/5	打合せ 7/3 7/25		第1回 9/9	第2回 10/17	第3回 11/14	第4回 12/12	第5回 1/16	第6回 2/27	
	重心 ネット 4/24					重心 ネット 9/4				重心 ネット 1/22		
	<p>①について：「重症心身障がい児及び医療的ケアが必要な児童のサービス利用等に関する調査」を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 調査対象：相談支援事業所（相談支援専門員）</li> <li>② 調査時期：R1年12月20日～R2年1月21日</li> <li>③ 回答数：14事業所より71名分</li> <li>④ 抽出された課題（一部抜粋） <ul style="list-style-type: none"> <li>・医ケアの有無・内容によって利用可能なサービスに差がある</li> <li>・短期入所の受け入れ先が不足している(医ケアの有無に関係なく)</li> <li>・相談員の知識・スキルが不足している</li> </ul> </li> </ul> <p>* 調査結果を踏まえて、来年度以降の取り組みを検討予定。</p> <p>②について：基幹相談支援センターの役割、福祉サービス利用に関する内容をまとめた資料を作成。活用を開始し、学校等とのより一層の連携を図っている。 新潟市発達障がい児者支援地域協議会 支援担当者部会に参加し、発達障がい児者に関する課題の共有、来年度以降の取り組みについて検討している。</p>											
班員	<p>(基幹相談支援センター)今田、川本、川村、久代、本間、杵鞭 (東区健康福祉課障がい福祉係)田中、(障がい福祉課給付係)星野、遠藤</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●重症心身障害支援ネットワークにいがた (すてっぷさぼーと)野崎管理者、大野相談支援専門員、(トゥインクル)古川管理者 (コスモス)小畑サービス管理責任者、(すずまり)水信支援員 (西新潟中央病院)稲澤療育指導室長 (はまぐみ小児療育センター) 桑原療育支援室長代理、古川主査 (県立東新潟特別支援学校)鈴木教諭・駒野教諭、(県立はまぐみ特別支援学校)井口教諭 (県立西蒲高等特別支援学校)熊倉教諭</li> </ul>											

令和元年度 新潟市障がい者地域自立支援協議会 相談支援連絡会  
各班活動の実績

⑤緊急相談班

課 題	①緊急コールセンターの相談体制にかかること ②その他、地域生活支援拠点等に必要な協議																																				
活動目標	①夜間休日コールセンター,基幹相談支援センター,短期入所事業所の連携体制確立 ②地域生活支援拠点等についての学びを深めていく																																				
活動計画	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:10%;">4月</td> <td style="width:10%;">5月</td> <td style="width:10%;">6月</td> <td style="width:10%;">7月</td> <td style="width:10%;">8月</td> <td style="width:10%;">9月</td> <td style="width:10%;">10月</td> <td style="width:10%;">11月</td> <td style="width:10%;">12月</td> <td style="width:10%;">1月</td> <td style="width:10%;">2月</td> <td style="width:10%;">3月</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align:center;">6/4 (火) 第1回 班会議</td> <td style="text-align:center;">ら いと は う す の 状 況</td> <td style="text-align:center;">8/6 (火) 第2回 班会議</td> <td style="text-align:center;">ケ ー ト 実 施 ・ 集 計</td> <td style="text-align:center;">10/2 (水) 第3回 班会議</td> <td style="text-align:center;">第 1 回 所 連 絡 調 整 会 議</td> <td style="text-align:center;">12/3 (火) 第4回 班会議</td> <td style="text-align:center;">状 況 確 認</td> <td style="text-align:center;">援 登 録 進 捗 支</td> <td style="text-align:center;">2/4 (火) 第5回 班会議</td> </tr> <tr> <td colspan="12" style="text-align:right;">12/2(月)片桐厚労省障害福祉専門官「地域生活支援拠点」講演会</td> </tr> </table>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			6/4 (火) 第1回 班会議	ら いと は う す の 状 況	8/6 (火) 第2回 班会議	ケ ー ト 実 施 ・ 集 計	10/2 (水) 第3回 班会議	第 1 回 所 連 絡 調 整 会 議	12/3 (火) 第4回 班会議	状 況 確 認	援 登 録 進 捗 支	2/4 (火) 第5回 班会議	12/2(月)片桐厚労省障害福祉専門官「地域生活支援拠点」講演会											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																										
		6/4 (火) 第1回 班会議	ら いと は う す の 状 況	8/6 (火) 第2回 班会議	ケ ー ト 実 施 ・ 集 計	10/2 (水) 第3回 班会議	第 1 回 所 連 絡 調 整 会 議	12/3 (火) 第4回 班会議	状 況 確 認	援 登 録 進 捗 支	2/4 (火) 第5回 班会議																										
12/2(月)片桐厚労省障害福祉専門官「地域生活支援拠点」講演会																																					
活動実績	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:10%;">4月</td> <td style="width:10%;">5月</td> <td style="width:10%;">6月</td> <td style="width:10%;">7月</td> <td style="width:10%;">8月</td> <td style="width:10%;">9月</td> <td style="width:10%;">10月</td> <td style="width:10%;">11月</td> <td style="width:10%;">12月</td> <td style="width:10%;">1月</td> <td style="width:10%;">2月</td> <td style="width:10%;">3月</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align:left;">→《班の目的と年間方針を策定》</td> <td style="text-align:center;">6/4 (火) 第1回 班会議</td> <td></td> <td style="text-align:center;">8/6 (火) 第2回 班会議</td> <td style="text-align:center;">は う す と の 連 携 状 況</td> <td style="text-align:center;">10/2 (水) 第3回 班会議</td> <td style="text-align:center;">更 を 検 討</td> <td style="text-align:center;">12/3 (火) 第4回 班会議</td> <td style="text-align:center;">→個別相談支援登録進捗状況確認</td> <td style="text-align:center;">2/12 (水) 第5回 班会議</td> <td style="text-align:center;">←新潟市地域生活支援拠点等事業の実施要綱案論議</td> </tr> <tr> <td colspan="12" style="text-align:right;">12/1(月)片桐厚労省障害福祉専門官「地域生活支援拠点」講演会</td> </tr> </table> <p>1) H30年4月からスタートした夜間休日コールセンター事業の進捗状況の確認し、システムを整備した。                  ①本市における24時間365日の相談支援体制を明確にすべく、役割・連携・フローを整理、共有した。                  ・平日：各区障がい福祉係・各基幹相談支援センター・計画相談、夜間休日：らいとはうす                  ・らいとはうすでの相談実態を踏まえ、一般相談対応案件の個別相談登録を可能にするとともに、情報提供機関の拡大等の整備を行う。                  ②らいとはうすと、市内の6つの緊急短期入所連携協定事業所による会議を開催し、連携のシステムを再確認・共有した。                  2) 本市における“地域生活支援拠点”の考え方を学び直し、あらためて8区在り方を進捗状況を含め、全体で共有した。                  ①各区における“地域生活支援拠点”を構想していく上で、核となる事業所の“地域生活支援拠点”との紐づけを明確にした。                  ②令和2年度は、“地域生活支援拠点”班として活動していく事を確認</p>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	→《班の目的と年間方針を策定》		6/4 (火) 第1回 班会議		8/6 (火) 第2回 班会議	は う す と の 連 携 状 況	10/2 (水) 第3回 班会議	更 を 検 討	12/3 (火) 第4回 班会議	→個別相談支援登録進捗状況確認	2/12 (水) 第5回 班会議	←新潟市地域生活支援拠点等事業の実施要綱案論議	12/1(月)片桐厚労省障害福祉専門官「地域生活支援拠点」講演会											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																										
→《班の目的と年間方針を策定》		6/4 (火) 第1回 班会議		8/6 (火) 第2回 班会議	は う す と の 連 携 状 況	10/2 (水) 第3回 班会議	更 を 検 討	12/3 (火) 第4回 班会議	→個別相談支援登録進捗状況確認	2/12 (水) 第5回 班会議	←新潟市地域生活支援拠点等事業の実施要綱案論議																										
12/1(月)片桐厚労省障害福祉専門官「地域生活支援拠点」講演会																																					
班員	・班長：細井 聡仁(夜間休日コールセンターらいとはうす:主任コーディネーター) ・久根内 恵子(十字園:生活支援課長) ・入山 涼(障がい福祉課給付係) ・飯田 蒼人(基幹西) ・肥田野 淳平(基幹秋葉) ・副班長:竹田一光(基幹西)																																				